

シーン理論から見る中国におけるポスト工業的空間の遺産化への再考 —四川省成都市・東郊地区を事例に—

WEI LINLIN

近年、中国では、第二次産業を中心とする社会から、第三次産業を中心とするポスト工業社会へと変容している。このような社会経済の構造転換の影響を受けながら、中国の都市の空間構造の多くは、従来の生産中心ではなく、消費を中心とした再編を遂げようとしている。こうした急速な都市刷新とともに、かつての工業都市は衰退し、それにより空洞化し老朽化した工業用建築物の新たな利活用が重要な課題として浮上している。このような背景の元、文化遺産制度を導入し、これらの産業遺構を「文化消費空間」に再編させる政策が多く地方政府において広く採用されている。ただし、文化の経済的効果に偏る政策及び中国の都市計画における官僚中心主義の慣習の存在により、文化や創造を標榜するマクロな政策立案によって改造された場所において、本来の生活リズムや文化が改変され、一種のグローバルな消費市場が形成されるのみならず、住民の社会的構成や、地域文化も大きく変容してしまい、開発による遺産の破壊事件が多発する実態が顕在化している。

このようなポスト工業的空間の遺産化現象とそのプロセスにおいて現れてきた問題に対し、先行研究では文化経済学の視点から、個体や集団の主観的認識や経験による遺産化過程への再考に取り組む研究が近年活発化している。それに加え、都市計画における歴史的環境を標準化した「文化消費空間」として捉える視点への反省が見られる中、遺産研究において、特に社会学的領域から「場所」という概念への注目が高まっている。すなわち均質で交換可能な「空間」に対し、地域の内なる視線による人々にとって熟知している「場所」という側面に注目する必要があると考えられる。したがって、先行研究における視点と課題を踏まえた上で、本研究では場所をめぐる意識的構造を細分化しつつ、人々の感受や価値判断に着目しながら、ポスト工業的空間を分析対象とする「シーン理論(The Theory of Scenes)」を導入することとした。一方、シーン理論の意識的構造モデルは、主に西洋社会の都市化の文脈に由来しており、その概念構成や要素が中国の地域文脈と異なることが示唆される。シーン理論に関する多様な実践や研究が展開されているものの、中国における適用については考慮すべき点もあると考えられる。

そこで本研究は、シーン理論の中国におけるポスト工業的空間への応用における探索的試みとして位置づけ、それにより遺産化をめぐる重層的な意識的構造の形成プロセスを究明することを目指した。具体的には、1950年代の国営工業地帯から産業遺産を中心とする文化消費空間への再編プロセスを経た、典型的なポスト工業的空間である四川省成都市・東郊地区を調査対象地として選定した。東郊地区は、計画経済を中心とした国営工業地帯の形成、経済体制改革に伴う脱工業化、旧紅光電子管工場跡地を中心に再編という3つの段階の歴史的変遷を経て、現在「新」と「旧」の共存及びコンフリクトが顕著に現れている地域でもある。

以上を踏まえ、シーン理論の分析枠組みに基づき、まず、空間の物質的構造の実態を、「近隣」、「施設」、「住民の社会的構成」、「活動」という4つのファクターを通して分析した結果、遺産化が東郊地区の文化や消費に関する活動を活発化させ、消費の対象が多種多様に取り揃えていることが分かった。ただし、産業遺産と周辺地域との連続性が一定程度断ち切れ、分断化の傾向も見えてきた。

続いて、その分断化の背後にある意識的構造を解明するために、まずテキストマイニングを通して本事例に適用するサブディメンションの調整を行った。それを踏まえた上で、対応する質問票を作成し、東郊地区の「シーン」の全体像を把握した。その結果、東郊地区の「シーン」をめぐる意識的構造の複雑性と重

層性をより可視化でき、「過去と歴史」、「距離感」、「地域の独自性と固有性」、「想像力の喚起」などの事項において周辺住民と観光客、また異なる年齢層の間でのイメージの差異を明らかにすることができた。さらに、イメージ・マップに基づいた半構造化インタビューを実施し、東郊地区の範囲に対する認識の差異から導かれる「地域の独自性と固有性」の内実、およびそれらサブディメンションの相異から見えてくる、空間と場所のまなざしの差異を検討し、さらには新しい場所性の可能性について考察した。

最後に、本研究で得られた成果の総括として、シーン理論から見えてくる東郊地区における文化消費から生成される遺産の「不協和音」、すなわち多様化と分断化の二面性を考察した。同時に、ポスト工業社会という背景の元で、都市計画の立場に偏る中国の遺産化に生成された公共性の衰退と産業遺産の形骸化という問題点に対し、「想像力の喚起」から見る産業遺産への再考を介して分断を乗り越える可能性について論じた。(環境行動学)